

森づくり最前線

山梨森林管理事務所 南部森林事務所 森林官 勝又 好徳



南部三郎光行公の像

南部森林事務所は、山梨県の南西部に位置する南部町に所在し、富士川中流域の国有林野2,345haと官行造林地407haを管理しています。

南部町には日本三大急流の一つである富士川が流れており、その支流の佐野川の源流部が上佐野国有林となっています。国有林の境界がそのまま山梨県と静岡県の間境となっており、毛無山から連なる熊ノ森、長者ヶ岳、天子ヶ岳があり、東海自然遊歩道が長者ヶ岳から佐野峠へ通っています。この県境は富士山の外輪山のため視界の開けた場所では目の前に富士山が見られ、時期によってダイヤモンド富士（朝方、富士山頂から太陽が昇る状態）を見ることができると、ハイキングを楽しまれる観光客が訪れます。南部町

を通る中部横断自動車道の山梨県から静岡県間は、最後の下部温泉早川IC～南部IC区間が令和3年に全線開通し県外からの来訪が増えてきています。

南部ICに隣接する「道の駅なんぶ」には南部三郎光行公の像があり、南部氏展示室によると、「南部」の地名は武田氏と同じく甲斐源氏を祖とする加賀美遠光の三男であった光行が、1189年の奥州合戦の少し前にこの地に赴任し、南部氏を称したことに始まるそうです。また、その後光行は源頼朝の奥州合戦に従い功により青森県岩手県にまたがる領地を拝領し、「三日月の丸くなるまで南部領」とうたわれるほどの広大な領地を保有した陸奥の戦国大名の祖となったようです。南部氏ゆかりの地として旧盛岡藩領の一つ、青森県の南部町とここ山梨県の南部町の子供たちがお互いの町を訪問しあう交流を30年以上続けています。



佐野峠から富士山と国有林を望む

私は令和6年4月1日付けで南部森林事務所へ異動となり着任から5ヶ月が過ぎました。この間、有害鳥獣捕獲委託事業の監督、カシノナガキクイムシ防除の粘着シートの設置、クマ樹皮はぎ被害防止用テープ巻き、境界の巡検、シカ柵点検、林道落石除去等様々な業務に携わっています。

諸先輩方から受け継いだ国有林を仲間達と守り、より良くして引き継いでいけるよう、獣害対策や森林整備に日々取り組んでいきたいと思えます。



左から筆者、渡辺さん、近藤さん、安武さん